



玉野市と岡山商科大学との地方創生に関する連携協定締結
(2019.5.23)



岡山商科大学と岡山県立和気閑谷高等学校との大包括連携に関する協定締結
(2019.7.16)



岡山商科大学とペナン州スポーツ振興センターとの覚書調印式 (2019.5.31)

CONTENTS

<商大トピック>

- 法学部新入生歓迎行事
- ブックハントツアー2019
- 岡山ユニセフ協会講演会
- 「日生海のそば」Lab.(ラボ)
- 観光振興論特殊講義

<情報アラカルト>

- 研究ブランディング事業
- クラブのめざましい活躍
- 第54回商大祭
- 2020年度入試日程
- 2019年度後期夕学サテライト

商大トピック

Topic

1

第51回学位記授与式

2019.3.22

2019年3月22日(金)、学位記授与式が挙行されました。井尻学長から大学院研究科、学科の代表者に学位記が授与され、卒業生を代表して、経営学部経営学科 木山峻祐さんから、恩師や後輩へ感謝の言葉が述べられました。(総務企画課)

●学位記授与者数

法学部法学科	83
経済学部経済学科	114
経営学部経営学科	89
経営学部商学科	76
商学研究科	2
法学研究科	1
経済学研究科	3

Topic

2

2019年度 入学宣誓式

2019.4.3

2019年4月3日(水)本学体育館において入学宣誓式が挙行されました。井尻学長から入学の許可が宣言され、新入生615名を代表して、経済学部 平田 夏一さんが入学を宣誓しました。(総務企画課)

Topic

3

法学部新入生歓迎行事

2019.4.11,18,25

法学部では、4月11日、18日および25日の3週に渡って新入生歓迎行事を行いました。今年は、「学内謎解きウォークラリー」を企画いたしました。これは図書館や模擬法廷など学内各所に設置された問題に、ゼミ別のチームで挑戦するというものです。正答率とクリアタイムとを集計して、順位を競いました。

関係各所の協力もあり、また、好天にも恵まれて、無事故などなくイベントを終えることができました。知恵を出し合って難問に挑む新入生たちの姿を各所で見かけましたが、こうしたチームワークがゼミにおいても生きてくることを期待しています。

さて、優勝したゼミについて。正答数では倉持ゼミと菊川ゼミが並んだもののクリアタイム(それも3分という僅差)で、総合優勝は倉持ゼミとなりました。なお、このイベントについては、本学部のブログにも写真付きで掲載しております。本記事と併せてご覧ください。

(法学部 教授 戸内圭介)

Topic

4

2019年度 岡山経営者論について

2019.4.22~

今年度は、(一社)岡山経済同友会のご協力の

もと、物流・流通・観光業の経営をテーマに岡山経営者論を開講しています。1996年から続く本講義は、「アクティブラーニング」という教育形式で講義が行われています。この教育形式は、提示された課題に対してグループ内で討論し、まとめ、そして発表までを行うことで、集団での問題解決能力や発表力の修得を目的として取り組んでいます。

2019年度前期は、両備ホールディングス(株)・両備トランスポートカンパニー長・田邊学氏、(公財)大原美術館理事長・大原あかね氏、(株)天満屋コーポレート部門部長・榎野博通氏、岡山土地倉庫(株)取締役営業部長・上田信行氏、(株)JTB岡山支店 営業担当部長・田村秀昭氏、全日本空輸(株)岡山支店長・常木尚隆氏にご登壇いただきました。

後期では、情報・通信・広告業の経営をテーマに、(株)両備システムズ代表取締役副社長・三宅健夫氏、(株)K2コミュニケーションズ代表取締役社長・矢野雅浩氏、西日本電信電話(株)岡山支店長・西谷紀彦氏、山陽放送(株)代表取締役社長・桑田茂氏、(株)山陽新聞社取締役・倉敷本社代表・日下知章氏、(株)電通西日本岡山支社クリエイティブディレクター・川口 修氏らをお招きし、2回ずつ講義をして頂く予定になっています。(経営学部 准教授 渡邊憲二)

Topic

5

岡山県警察本部長によるご講演

2019.4.24

4月24日、岡山県警察本部長の桐原弘毅氏に「最近の治安情勢と警察の仕事」と題し、ご講演いただきました。近年、新しい犯罪や国際的な広がりを持つ犯罪が増えており、それに対応するべく日々進化・精錬していかねばならない警察の細やかな取り組みや最新の捜査手法など、幅広くお話をしました。警察官という仕事に魅力を感じた学生も多かったのではないかと思います。(法学部 准教授 加藤摩耶)



Topic

6

本学と玉野市との地方創生に関する連携協定の締結について

2019.5.23

本学では、地域に貢献する社会科学系の大学として、地方自治体が課題とする諸問題に対応するための教育研究活動を行っています。これまで、新庄村、笠岡市、瀬戸内市、岡山市、備前市、津山市、真庭市、和気町の8市町村と協定を締結し、地域貢献活動を実施しています。

玉野市では、「たまの版生涯活躍のまち(CCRsea)」が推進する「いつもなにかが生まれるまちづくりを進めます。～交流支援機能の発揮～」において、農林水産省が新たな政策として取り組む「農泊」を、主な取り組みと位置づけています。2018年11月、たまの農山漁村魅力向上推進協議会、農林水産省中国四国農政局とともに、本学に所属する外国人留学生10名と教職員2名が「海洋型観光と漁業との協調」をテーマとした観光モニターツアーに参加し、玉野市の観光商品に対する感想を述べるとともに提言も行いました。

こうした取り組みにより、新たな観光商品の開発に学生のアイデアや教員の専門的な知見を反映することで、玉野市の持つ観光資源の有効活用につながることを考えられます。さらに、玉野市が実施するその他の施策・事業についても、自治体との連携活動を数多く行う本学としての協働が可能と考え、今回の連携協定の締結となりました。この協定により、市町村との協定は9つとなりました。

締結式では、黒田晋市長から「様々な分野で地方創生を行っているが、それらを推進できるようお力添えをいただきたい」とのご挨拶がありました。井尻学長は、「地域と呼吸する大学として、積極的に協力していきたい」と応えられました。(産学官連携センター)

Topic

7

「ブックハントツアー2019」の実施について

2019.5.25

2019年5月25日(土)、学生と図書館員が岡山県内の大型書店「丸善岡山シンフォニービル店」に直接出向き、図書館に置いてほしい本を選び、図書館が購入するという「ブックハントツアー」を実施しました。

もっと学生に図書館を身近に感じてもらいたい。もっと気軽に本を読んでもらいたいという思いで、昨年度の11月から始めた企画でした。参加された学生より、大変好評だった為、本年度も実施する運びとなりました。

今回は、法学部4年生1名、3年生2名、経営学部3年生1名の計4名の学生が参加し、122冊の様々なジャンルの本を、選んでもらいました。

今回、学生に選んでもらった本は、図書館2階のブックハントコーナーに配架されています。学生目線ならではの、読みやすいタイトルが充実していますので、気になる方は、ぜひ図書館にお立ち寄りください。

来年度も同様、5月中旬～下旬に実施予定です。学部・学年問わず参加できます。少しでも本に興味のあるという方は、気軽に参加してみてください。(図書課)



Topic

8

マレーシア ペナン州 柔道覚書調印について

2019.5.31

本学からは井尻学長はじめ7名が出席して上記の調印式が行われました。

締結に至った経緯は、約20年前のことでありますが、私が東南アジア柔道連盟のテクニカルアドバイザーをしていた時の会長(今回も来学 Johnny Khoo氏)がペナン州の出身でした。それから個人的に親交を深め、柔道を通しての交流が始まりました。近年では2017年3月にマレーシアで開催された国際柔道大会に本学柔道部の選手12名を派遣、18年には夏季休暇を利用して学生4名を派遣しました。派遣要請の理由は、ペナン州は有名な観光都市であるが小さな州であり、マレーシア13州で競う日本国であれば国民体育大会マレーシア版で常に下位、前回も12番目でした。そのため州知事を先頭に上位を目指すということで、柔道競技にも白羽の矢が立ち、Khoo氏に柔道強化の命令が下されました。Khoo氏は金メダル3個以上獲得の約束をしたとのことでした。そこで本学学生を4名派遣して強化の計画を立案しました。強化は短期間では無理であり、夏季休暇までを指導にあてて40日という長い期間で計画、その為8月末には学生の一歩の目標である全日本学生体重別選手権の中四国予選を放棄しなければならぬが、それ以上の勉強にもなる説明したところ、快く引き受けてくれ派遣が実現しました。結果は金メダル6個、銀メダル3個、銅メダル3個と素晴らしい成績を上げることができ、大会終了後には部員4名はペナン州スポーツ大臣から報奨金まで頂くという素晴らしい成果を上げて無事帰国しました。

以上のことからペナン州スポーツ振興センターと本学が正式に協定を結び交流を深める運びとなりました。

また調印式に先駆けて若手選手男女6名を5月23日から6月9日まで本学で受け入れ、指導しました。帰国後、香港、マカオで開催されたアジアジュニア国際大会で金メダル2個、銀1個、銅3個を獲得したとの報告を受けました。少しずつではありますが成果が表れてきたことを喜んでます。この覚書調印を機に本学柔道部では異文化交流や社会教育を主とし、ペナン州は技術強化を主として長く交流を継続しようと考えています。

(柔道部顧問 大谷崇正)

Topic

9

FPコース・キッズマネー教室 開催

2019.6.16

大学コンソーシアム岡山主催の「日ようび子ども大学」が6月16日(日)に岡山県生涯学習センターで開催され、経営学部商学科のFPコース生が「キッズマネー教室」を行いました。



FPコースの伝統行事となっている当プログラムは、小学生がゲーム感覚で「目標に向けたおこづかいの貯め方、使い方」を学習できるよう、金融リテラシーマップに基づき、学生がシナリオを考案し、運営する小学生向けの金融リテラシー教育プログラムです。

本年度は、FPコース生1・2年15名が参加し、司会進行役と児童の付き添い役を分担し、1回あたり45分のプログラムを5回実施しました。参加児童は合計で46名となり、参加数が増えた昨年に引き続き好評でした。特に、自ら率先して当プログラムを選び参加してくれた児童が多かったことに驚かされました。また、保護者からは、「普段はなかなか教えられるお金に関することを丁寧に教えてもらい、貴重な体験をさせることができた」との感想もいただきました。小学生に向けた金融リテラシー教育の必要性と共に、学生主体で実施する意義を改めて実感しました。これからも、学生が「キッズマネー教室」を発展させ、継続してくれることを期待しています。(経営学部 准教授 海宝賢一郎)

Topic

10

商学科教養演習・研究演習2年講演会「ブルキナファソの現状とユニセフの活動」

2019.7.11

商学科の教養演習1年と研究演習2年の有志ゼミ合同で講演会を行いました。



岡山ユニセフ協会から小野田春花さんにお出いただき、彼女がユニセフスタディツアーで実際に目にしたアフリカの「ブルキナファソ」の現状とユニセフの活動について、若い感性で熱く語っていただきました。

新生児の死亡率、初等教育就学率、成人識字率などブルキナファソと日本の比較から、金鉱での児童労働の現状やトイレを設置することで改善が進む衛生環境、たった1.9円で幼児一人に半年必要なビタミンAが投与できるといったお話のほか、10代の少女が水汲みをする水瓶に半分だけ水を入れたものを実際に持ってどれだけ重いのかを実験しました。グローバルな問題に対処するために自分たちに何ができるか、グローバルな人間になるとはどういうことなのか問題提起をいただいた講演会でした。(経営学部 教授 松浦美佐子)

Topic

11

本学は岡山県立和気閑谷高等学校と高大包括連携に関する協定を締結しました

2019.7.16

2019年7月16日に、本学において、岡山県立和気閑谷高等学校との間で高大包括連携に関する協定を締結しました。

和気閑谷高校では、文部科学省が今年度から実施する「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」地域魅力化型に指定(全国で20校)され、「『怒(じょ)』」の精神を持って地域と協働する探究人の包括的育成」というテーマで、課題解決型探究学習「閑谷學」を主軸の一つとして事業を推進しています。この「閑谷學」が目標とする「地域との関わりを重視しながら、自ら学び、自ら考える姿勢と問題を解決していく力」を身につけるために、また、1年次の目標「探究学習を行うために有効な探究の学び方(発想法、調査法)」を学

ぶために、本学に対し生徒への指導・助言の依頼がありました。

本学では、経営学部の三好宏教授による出前講義によりこの依頼に応えましたが、さらに企業や団体の課題解決を行う「フィールドスタディ」や「発想法・経済学・経営学・商学」その他の分野での協力が引き続き可能であることが、この度の包括協定締結へと繋がりました。(産学官連携センター)

Topic

12

高校生&大学生「日生海のそば」Lab.(ラボ)

2019.7.13

2019年7月13日(土)に日生カキ

オコまちづくりの会が今年の「日生海のそば」シーズンの開幕イベントとして、地元の高校生や大学生が日生産の海産物などが入った自分たちが好きな「日生海のそば」を創作するミニイベントを日生町内で開催しました。

本学からは韓国の留学生を含む4名が参加し、カキコ・エビコ・日生海のそばを試食後、日生のまちへ買い出しに行き、韓国風海のそばを作成しました。

他にも、備前緑陽高校・岡山工業高校・外国人観光客チームやおかやまJKnote「高校生放送局」チームが参加し、それぞれ工夫した海のそばが6種類できました。

一番見た目も良く美味しかったものへ試食投票した結果、本学は優勝とはなりませんでしたが、海外の観光客の方も極めて非常に好評な企画であったため、今後のインバウンド観光への道筋が見えたものとなりました。

今夏はぜひ備前市日生地区へ日生海のそばを食べに来てください!! (産学官連携センター)



Topic

13

科学研究費助成事業への取り組み

文部科学省・科学研究費助成事業(科研費)は、研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つであり、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」(研究者の自由な発想に基づく研究)を格段に発展させることを目的とする「競争的資金」であり、他の研究者による審査を経て、豊かな社会発展の基盤となる独創的・先駆的な研究に対して助成を行います。本学からも毎年多数の研究者が申請を行っており、2019年度は、以下の研究課題で研究費の交付を受けています。

研究種目・期間	研究課題	研究者(所属)
挑戦的萌芽研究 2016~ 2019	アジア和僑ビジネスと日本の地方農水産業:国際ロジスティクス・ネットワークの併存	古川 澄明 (研究代表者) (経営学部・教授)
若手研究(B) 2016~ 2019	複数事例の進展統合化グラフによる事業所内の潜在的リスク可視化システムの開発	貫輪 弘嗣 (研究代表者) (経営学部・准教授)
基盤研究(A) 2017~ 2021	イギリス公法訴訟における違法性の判断構造に関する研究	伊藤 治彦 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(B) 2017~ 2020	配偶子凍結保存の増加と「ライフプラン」「ジェンダー観」の変化に関する学際的研究	栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授) 戸部 圭介 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2017~ 2019	「手術誘引」の研究	栗屋 剛 (研究代表者) (法学部・教授) 戸部 圭介 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(C) 2017~ 2019	アイトラッキング・データを活用した消費者行動の分析	大東 正虎 (研究代表者) (経営学部・教授)
挑戦的萌芽研究 2017~ 2019	認知症患者の人権保障に向けた学際的研究	栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(B) 2018~ 2020	ハンセン病医療倫理学の創出に向けた学際的基盤の構築とカリキュラム開発	栗屋 剛 (研究分担者) (法学部・教授)
基盤研究(B) 2018~ 2022	ビッグミクロデータ匿名性評価手法の開発	佐井 至道 (研究分担者) (経済学部・教授)
基盤研究(C) 2018~ 2020	児童・生徒の批判的思考力の発達に基づく小・中学校社会科授業モデルの開発研究	前田 健一 (研究分担者) (経済学部・教授)

基盤研究(C)

2019~

2021

「新しい診療拒否」に関する学際的研究

戸部 圭介
(研究代表者)
(法学部・教授)
栗屋 剛
(研究分担者)
(法学部・教授)

(総務企画課)

Topic

14

観光振興論特殊講義について

観光振興論特殊講義は、観光や地域振興の現場の方々にお願いいただき、お仕事内容等を講義いただく

オムニバス形式の授業です。学生は各回意見レポートの提出が課せられ、観光や地域振興への理解を深めることが目標とされています。

今年度は、真庭市北房部(あざえ)地区において設立されたゲストハウスの運営や観光イベントを学生がお手伝いしている、北房まちづくり会代表取締役 加戸義和様と北房観光協会事務局 長 坂本信広様。商学科科目「テーマパークデザイン論」で徳島県神山町でのフィールドスタディをアテンデくださっている株式会社リレイションプランナー 前田優様。同じく「観光地計画論」で学生を受け入れていただいている株式会社グリーンピア萩山から、まきばのレストランウッドパオ土産部門責任者 長恒智洋様。奉還町商店街でゲストハウスを経営されている合同会社さんさんとりくぐる代表 明石健治様。写真ナガセプロカメラマン 米岡剛樹様の計6名の方をお呼びしました。

この講義は2010年度から開講されていますが、今年大きく変更した点が二つあります。一つは、あくまでも現場の第一線で活躍されている方を講師としたこと。一つは経営学科科目「経営者論」のように、お話の次回に学生たちが関連するテーマでグループワークをするというものです。

ゲスト立会いのもとでグループワークを行ったのは、とりくぐる代表明石様のみでしたが、そこで出された「お客を集めるゲストハウス」のアイディアについて、改めてゲストハウスで重要なことを再認識させられたとの講評を頂戴しました。次年度以降も積極的に学生たちのグループワークを取り入れていきたいと考えています。

(経営学部 教授 三好 宏)

Topic

15

北房まちの駅AZAEセンター運営補助について

2018年2月に

行った農泊モニターツアーを皮切りに、北房農泊推進協議会と本学が連携して皆部(あざえ)商店街を拠点とした農泊プログラムの開発等に取り組んでいます。

今年4月には築80年の貸本屋(古民家)を再生したゲストハウス・ドミトリ兼観光案内所である「北房まちの駅AZAEセンター」が完成しました。現在、こちらの運営補助を中心に、留学生を含む学生や教職員が真庭市北房地区の観光やまちづくりに携わっています。

センターの業務を補助することは勿論のこと、まず客室内を英語・中国語・韓国語の3カ国語に翻訳し、外国人観光客の方向けの案内を整えました。韓国やフランスなど海外の方も宿泊するため、文化生活圏が違う中で安全・安心に過ごせるよう工夫をしています。

また、内外の方に歴史文化を伝えるため、旧北房町を中心として広がる寺院やお堂を「北房88か所大師巡り」として調査し、マップや冊子として今後まとめる予定です。地域の方の発見的動機付けを高めると共に、同センターで行っている体験プログラムとしての活用も視野に入れています。

今後も地域の方が行う地域資源を活用した経営のお手伝いができるよう努めてまいります。

(産学官連携センター)



～春の叙勲～

井尻昭夫理事長が旭日中綬章を受章

長年、学校法人吉備学園の運営を担ってきた井尻昭夫理事長が、春の叙勲で栄えある「旭日中綬章」を5月28日に受章された。法人にとって大変名誉なことであり、教職員にとっても大きな喜びである。

理事長は、1995年に岡山商科大学の学長に就任され、新学部・学科の開設や改組に精力的に取り組まれるとともに、日本私立大学協会の常務理事として私立大学の振興・発展のために懸命に打ち込み、大きな成果を上げられた。

『何事にも一生懸命』を心に秘められ、その行動力は教職員も認めるところであり、特に誰もまねのできないのが、朝7時には学長室の席について仕事に向き合われていることである。

今回の叙勲は、理事長にとっては、一つの通過点であり、「これからも一生懸命学園運営に取り組んでいきたい」と決意を新たにされた。



～岡山県文化賞～

大崎紘一副学長が学術部門(教育)で受賞

2019年度の岡山県文化賞の学術部門で、大崎紘一副学長が7月3日受賞された。この賞は昭和23年に創設され、第1回目の受賞者は、本田慧星で知られる天文家の本田実氏、詩人の永瀬清子氏で、岡山県を代表する賞である。

大崎副学長は、画像処理ロボットを用いて製品を組み立てる効率的な生産システムを完成させ、国内のものづくり技術の向上に貢献するとともに、経営工学の生産管理分野で大きな成果を上げられた。

また、平成19年からは本学副学長として、大学教員の持てるノウハウを市町村の振興策に効果的につなぎ、学生たちも学習の一環として「フィールドスタディー」という形で現場に入る仕組み作りをはじめ、本学において10年以上教育と地域づくりに打ち込んでこられた。

今回の受章を機に、今後一層、大学教育の推進に取り組んでいきたいと意気込みを新たにされた。

(学校法人吉備学園 専務理事 三浦一男)

エッセー
数珠つなぎ

岡山と備前焼と柔道

法学部法学科 助教 菊川 顕

私は、岡山で暮らして今年で19年目になります。水が合ったのか、何かの縁なのか、生まれ故郷の奈良で過ごした月日を超えてしまいました。住んでみて、岡山は「備前焼」のようだと感じています。その理由として、晴れの日が多い、山や海などの自然が豊かで、果物をはじめ海の幸・山の幸といった食べ物が美味しく、新幹線が通っていて、空港もアクセスしやすい場所にある、田舎過ぎず、かといって都会過ぎない、運転マナーはあまり良くないが、なぜか暮らすには丁度いい。地味ではあるが、味があって、まさに備前焼です。

ところで、私は、本学では健康教育を担当していますが、専門は柔道です。実は、岡山は柔道をはじめ武道に深い縁があります。かの有名な剣豪宮本武蔵は、美作の生まれとも言われておりますし、文献が残っている日本最古の柔術流派である竹内流は、岡山市北区の建部が発祥です。竹内流は500年以上もの間、一子相伝で伝えられており、現在14代目になります(ちなみに14代目当主は、以前、本学の職員として勤務されていました)。

また、岡山藩の池田家は、現在の柔道の元となった起倒流柔術を採用していましたし、その伝承者で、柔道の大家でもある金光弥一兵衛も岡山市内の生まれです。この金光弥一兵衛は、特に寝技の発展に貢献をした知る人ぞ知る人物です。寝技は、立技のような派手さはありませんが、堅実で柔道にとって重要な要素です。そんな寝技を大切にした人物です。

さて、柔道には「精力善用、自他共栄」という言葉があります。簡単に言うと、「心身の力を社会の為に善い方向に用いて、自他ともに栄えある世の中にしていこう」という意味で、自分と他人との調和を目指す素晴らしい教えです。

備前焼の「芸術性と実用性」、柔道の「立技と寝技」、本学の建学の精神「中正な思想」の様に、物事の両面(極)を大切にしつつ、バランスを重視して調和する、そのような風土が岡山に根付いているように感じます。

ちなみに、研究室にも飾るほど備前焼が好きな私は、「岡山」が好きなんだ…と改めて感じる今日この頃です。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家

石井敏弘

本学非常勤講師(第十七期商学部卒)

私事ではありますが、八月に過去作のいくつかが電子書籍化されました。自分は本質的にはアナログ人間なので、紙の本が好きで執着があるのですが、今回はKindleのソフトをスマートフォンやパソコンに入れて、電子書籍を購入して読むという体験を初めてしました。

そうしてみると、意外や意外。使いやすい読みやすいのです。これには驚きました。文字なども自分で好みに拡大できますし、それでちゃんと調整されてページが表示される。何よりも書籍は持ち運ぶと、何かとかさばって重いというのが宿命なのですが、スマホだけだことが足りてしまつたわけです。

この電子化の流れは、漫画の業界ではどんどん進んでいて、電子漫画で収入を得ている作家も多いのだとか。紙の漫画をそもそも作成しない、という流れができてきているそうです。これに比べると、小説は遅々として電子化が進んでいないそうです。

一方で、私の住む児島で、ツタヤが九月末で閉店するという話を聞きました。児島にはかつて書店が数店舗あったのですが、ここ二十年ほどで次々に閉店し、ツタヤが撤退すると一店舗のみとなります。レンタル業界も配信に押されて厳しく、本もアマゾンなどの宅配で購入したほうが手取り早い時代で、規模がどんどん縮小していきます。

こうした「本」を取り巻く業界は、おそらく今後、加速度的に変化していくように感じます。電子化には大きなメリットもありますが、それは埋もれてしまった作品が、再びよみがえり、後世に残されるということでもあります。小説の電子書籍は、そうした「復刻」に焦点が当たっています。しかし、おそらく最初から電子でという創作も、これからは爆発的に増え、それはきっと今までにない才能の登場や文学の拡大にも繋がると予感します。

とはいえ、愛着のある紙の本が減少する寂しさも拭えないのです。

3on3バスケットボール大会開催

2019.6.15

岡山商科大学では体育会本部が主催する企画が前期と後期に一度ずつ行われます。今年度の前期には6月15日に本校体育館にて3on3バスケットボール大会を行いました。企画書やポスターを作り学年学科問わず全学生から募集を行い8チーム24人の参加者が集まりました。参加賞や景品も用意し参加者に御満足いただけるよう準備を進めていました。しかし、当日は1チーム不参加で7チームでの開催となり1チーム不参加になったことによる試合数の減少や待ち時間の増加、ルールの説明不足などトラブルが多く戸惑ってし

まいしました。それでも参加者のご協力のお陰で大きな怪我もなく企画を終えることができました。企画には交流の浅い学科の学生や留学生も参加して下さり企画を通じて学生同士の交流を深められたのではないかと考えています。今回の企画ではトラブルも多く経験の浅さを実感いたしました。今回の経験を通して私たちの成長にも繋がったと思っています。

(体育会本部 経営学部2年 岡崎遼)

「岡山県愛の血液助け合い運動」献血キャラバン隊の訪問について

2019.7.1

私達学友会四本部では日本赤十字社岡山県支部様ご協力の下、私達にできる社会貢献活動の一環として普段より年に数度のペースで学内での献血活動の運営を行っています。この度2019年7月1日(月)より8月31日(土)までの間「岡山県愛の血液助け合い運動」が行われることとなり、初日である7月1日(月)にそのオープニング行事として「献血キャラバン隊」の方々が本学にお越しくださいました。まず、献血推進協議会長(伊原本知事)からのメッセージ伝達が行われ、啓発資料としてクリアファイルを頂きました。また、本学の学生代表による献血キャラバン隊の方々に対する激励メッセージの読み上げも行われました。当日は暑い中ではありましたが、

厳かな雰囲気の中で無事に式典を執り行うことができたのではないかと感じています。

その後、翌週7月10日(水)にも献血活動を行いました。後期講義が始まる9月以降についても、継続して協力させていただきます。 (学友会執行本部 経営学部4年 山口寛生)



ゼミナール協議会についてのご報告

2019.5.23

去る5月23日(木)に学友会四本部主催により、数年ぶりとなるゼミナール協議会が開催されました。本協議会は暫く行われていみせんでしたが、学生生活の充実化を図るべく学生からの様々な意見を募る為に開催することとなりました。本協議会では10月に行われる商大祭についての告知や6月26日(水)に執り行われた学生総会に向けての意見募集、6月15日(土)に執り行われた体育会本部主催の「3on3バスケットボール大会」の開催告知などが行われました。また、各ゼミナールに向けて商大祭及び学生総会の開催に向けた意見アンケートの配布も同時に行われました。アンケートでは各ゼ

ミナールの学生・教員の皆様から多くの意見を頂き、商大祭については大学祭実行本部が、学生総会については学友会執行本部が集計を行い、それぞれの行事を開催する上での参考とさせていただきます。

アンケートでは学内設備や学習環境改善についての意見も多く、まとめた上で関係各所との話し合いを行い、今後のより良い大学づくりに生かしていくことができると考えています。

(学友会執行本部 経営学部4年 山口寛生)

Asia Report アジアレポート

孔子学院便り

岡山商科大学孔子学院は、岡山商科大学と大連外国語大学との共同プロジェクトとして平成19年(2007年)に開設されました。本学院のこれまでの歩みは多くの方々のご支援があって初めて実現できたものであり、関係の皆様方に心より御礼を申し上げます。

さて、毎年恒例の「端午節交流会」は今年も皆さんの期待の中、2019年6月8日に開催しました。端午節の交流会は孔子学院の長年続いている行事で、交流会の現場には大勢の市民の方々が来場されました。会場は、中国古来の縁起物である「飾りの粽」「瓢箪型の燈籠」「ドラゴンボート」などで飾り付けて、濃厚な祝日の雰囲気に包まれていました。交流会は、孔子学院副院長黎曉妮の開会挨拶で、幕を開きました。黎曉妮副院長はPPTを通じて、市民に端午節の由来と伝統的な習慣などを紹介し、粽の作り方を詳しく説明しました。その後、一般参加者、留学生たち、孔子学院の受講生たちは、孔子学院の先生、ボランティアスタッフ

と一緒に粽作りを楽しく体験しました。

それから、パフォーマンスの時間で、司会者である孔子学院事務局長の葉師寺さんによる進行で、中国人留学生のギターの弾き語り、倉敷教室の受講生の太極拳の披露、スタッフたちの中国語の歌、縁起の五色の糸結びなどみんなで楽しみました。最後に、おいしい手作りの粽をいただきながら、中国の伝統文化と中国の祝日の雰囲気を身をもって味わっていただいて、とても名残惜しく幕を閉じました。

今回の交流会も岡山の一般市民と触れ合い、交流の良い機会となりました。今後とも岡山商科大学孔子学院は市民の声に応じ、より良い文化イベントに力を入れて、中国文化の魅力を感じ、親しんでいただきたいです。

今後とも引き続き岡山商科大学孔子学院をご支援いただきますようお願いいたします。

(孔子学院 副院長 李 燕)

キャリアセンター便り

本学の2019年3月卒業生（今春卒業生）の就職率は98.3%と昨年に引き続き大変好調で、2020年3月卒業予定者（来春卒業生）の就職内定率も9月末現在92.3%と非常に高い率で推移しています。その要因は戦後最長を記録する好景気を背景とした売り手市場が続いていることがあげられ、特に中小企業においては人手不足が慢性化しており、岡山県では有効求人倍率が2倍を超える状況が続いており、小売・卸売業、建設業においてその傾向は顕著に現れています。ただその一方で、「3年3割」と言われるように、離職者も多く、いわゆる「ミスマッチ」が発生しているのも事実であり、そのことが人手不足に拍車をかけています。このミスマッチを少しでも減らそうと、特に近年盛んに行われているのが「インターンシップ」です。インターンシップとは「学生が一定期間企業で働く就業体験」の事であり、インターンシップに参加するメリットとして、①興味のある企業や業界が見えてくる。②社会人や企業の担当者とコミュニケーションを得られる。などが挙げられ、大学3年生を対象に夏休みや2月に「1dayインター

ンシップ」として開催されるのが主流であり、営業への同行や先輩社員との交流等、企業によって内容は異なりますが、多くのことが学べるようにプログラムを工夫して開催されているので、1日でも貴重な体験となります。就職情報会社のアンケートによれば、2020年3月卒業予定で内定を得ている学生のうち、インターンシップに参加した経験のある学生の割合は7割を超え、インターンシップに参加した企業から早期に内定を得た学生も多数見受けられ、就職協定が形骸化する中、「インターンシップ参加」が内定への近道となるこの傾向は今後も続くものと思われる就職を希望する学生にとって「必須イベント」となりつつあります。実際に本学の4年生（2020年3月予定）も3年生の時にインターンシップに参加した会社や業界を志望し、内定を得るという例も多数見受けられるようになりました。

就職を考えている在学生の方はインターンシップに是非参加をして、一生寄り添える「キャリアパートナー」を探してください！（キャリアセンター）

Information

情報アラカルト

平成30年度決算（岡山商科大学）

資金収支内訳表

（単位：千円）

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	1,694,175
手数料収入	31,743
寄付金収入	13,821
補助金収入	357,850
資産売却収入	0
付随事業・収益事業収入	42,319
受取利息・配当金収入	2
雑収入	97,285
借入金収入	0
収入の部合計	2,237,195
支出の部	
科目	金額
人件費支出	1,023,729
教育研究経費支出	537,887
管理経費支出	166,610
借入金等利息支出	1,032
借入金等返済支出	25,800
施設関係支出	234,620
設備関係支出	96,377
支出の部合計	2,086,055

事業活動収支内訳表

（単位：千円）

科目		金額
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金
		1,694,175
		手数料
		31,743
		寄付金
		14,671
		経常費等補助金
		357,850
	支出	付随事業収入
		42,319
		雑収入
		98,313
教育活動外収支	収入	教育活動収入計
		2,239,071
	支出	人件費
		1,018,849
		教育研究経費
		722,288
		管理経費
		216,634
特別収支	収入	徴収不能額等
		0
		教育活動支出計
		1,957,771
	支出	教育活動収支差額
		281,300
		受取利息・配当金
		2
		その他の教育活動外収入
		2
基本金組入前当年度収支差額	収入	教育活動外収入計
		4
	支出	借入金等利息
		1,032
		その他の教育活動外支出
		12
		教育活動外支出計
		1,044
基本金組入額合計	収入	教育活動外収支差額
		△ 1,040
	支出	経常収支差額
		280,260
		資産売却差額
		0
		その他の特別収入
		0
当年度収支差額	収入	特別収入計
		0
	支出	資産処分差額
		285
		その他の特別支出
		0
		特別支出計
		285
事業活動収入計	特別収支差額	
	△ 285	
	基本金組入前当年度収支差額	
	279,975	
	基本金組入額合計	
	△ 124,968	
	当年度収支差額	
	155,007	
	(参考)	
	事業活動収入計	
	2,239,075	
	事業活動支出計	
	1,959,100	

誌面の都合により千円未満の単位を省略しています。

人事異動

(2018年10月～2019年9月現在)

種別	役職等	氏名	所属	日付
退職	教授	岸田芳朗	商学科	3月31日
	招へい教授	肖 爽	法学科	
	准教授	加藤真也	経済学科	
	准教授	加藤友佳	法学科	
	嘱託職員	藤澤寛子	学生課	
採用	教授	浜田和樹	経営学科	4月1日
	教授	吉岡伸一	法学科	
	准教授	坂巻綾望	法学科	
	講師	熊代和樹	経済学科	
	講師	星野聡志	経済学科	
	副学院長	李 燕	孔子学院	
	事務職員	森田敏生	入試課	
	事務職員	牧 哲也	学生課	
	嘱託職員	王 甲	学生課	
	嘱託職員	都築上志	学生課	
	嘱託職員(参事)	阿部敏昭	学生課	
	嘱託職員(参事)	南光恭裕	入試課(高大連携アドバイザー)	
昇任	教授	松浦芙佐子	商学科	
	参事	伍賀千恵	入試課	

種別	役職等	氏名	所属	日付
異動	課長	甲斐裕昌	学生課	
	主任	橋本真記	教務課	
新任	教授	穴戸圭介	法学部長 法学研究科長	4月1日
	教授	佐井至道	経済学部長	
	教授	西 敏明	経営学部長	
	教授	駿河輝和	経済学研究科長	
	教授	吉田 信	学生部長	
	講師	倉持 弘	入試部次長	
	教授	三谷直紀	国際交流室長	
採用	嘱託職員	三浦美由紀	産学官連携センター 事務課	5月1日
	嘱託職員	福田一成	入試課	
退任	教授	岸本雅之	教学部次長	7月31日
退職	招へい准教授	王 曼柳	商学科	8月31日
採用	講師	朴 慧淑	孔子学院	9月1日
新任	教授	吉岡伸一	産学官連携コーディネーター	9月30日
退職	嘱託職員	都築上志	学生課	

(総務企画課)

研究ブランディング事業の状況

2017年度に採択された文部科学省平成29年度私立大学研究ブランディング事業を実施して3年目になりました。過去2年間、社会的側面4研究テーマ、経済的側面12研究テーマで、包括協定を締結している市町村のご協力を得て、本学の教員が決めたテーマ、地域の課題解決のために共同研究をしているテーマについて、学生・教員が積極的に研究を進めてきました。

研究推進のために2019年3月には、研究推進グループ会議に学外の方のご参加をいただき、16研究テーマ全ての研究経過、研究成果について報告をしました。既にある程度まとまった食品に関する研究については、2018年3月に出版された『フードビジネスと地域』(ナカニシヤ出版)に5研究テーマの成果が掲載されています。更に2020年3月に出版予定の『地域と大学』(ナカニシヤ出版)には6研究テーマの成果が既に執筆を終了し、編集作業が進んでいます。なおこの著書には、地域と大学をつなぐ窓口の役割を果たしている本学の「産学官連携センター」が、包括連携協定を締結している市町村で構成するプラットホームを構築し、本事業の研究活動を支援していることについても、まとめています。

本年度も後半期を残すのみであり、16研究テーマを推進している教員の方々は、研究のまとめをされていますので、研究成果のまとめとして公表されていない6研究テーマの成果について、二松学舎大学と共同で出版している著書に掲載するのか、本事業の「『寄り添い型研究』による地域価値の向上」として、16研究テーマ全てを掲載した著書出版にするかを現在検討しています。

学部横断型で地域をテーマとして始めた研究でありますので、個々の研究テーマについては成果が学会発表、論文として投稿されると共に、地域課題解決のために市町村の施策立案に貢献できている状況を見ると、本学の研究ブランド確立のための礎の研究事業とみなせる状況になってきました。大学の役割は、教育、研究、産学連携・地域貢献、グローバル化を推進することであり、特に教育、研究の質向上のためには、本学では教育と研究を連携して学生、教員が協働で取り組める個別の研究テーマを、大学ブランドとしてのグループテーマとして推進できる体制が必要であることが証明されつつあります。

(副学長 大崎紘一)

クラブのめざましい活躍

【ウエイトトレーニング部】 田辺陽太 世界クラシックパワーリフティング選手権大会(スウェーデン)第3位入賞
全日本学生パワーリフティング選手権大会(大阪府)準優勝

【卓球部】 2019年度中国学生卓球選手権春季大会(鳥取)男女団体・ダブルス・シングルス全種目制覇(6冠)、同秋季大会(山口)男女団体・女子ダブルス・男子シングルス優勝(4冠)

その他、弓道部・剣道部・ゴルフ部・射撃部・柔道部・ボウリング部が予選を勝ち抜き全国大会へ出場しています。

また、吹奏楽部は岡山商科大学附属高校との合同定期演奏会や福祉施設等での演奏、犯罪被害者支援同好会は講演会等の主催等、文化系サークルも活発に活動しています。引き続きご声援よろしくお願いいたします。(学生課)

※学報 Vol.113、6頁「2018年度部活動戦績」の中で、卓球部・第85回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部・女子シングルスへ出場した選手を坂口陽芽菜さんご紹介しておりましたが、正しくは阪口陽芽菜さんです。お詫びして訂正します。

Information
情 報 ア ラ カ ル ト第54回商大祭「L∞P」
～無限に広がる輪～

今年度も、第54回商大祭を2019年10月19日(土)～20日(日)に開催いたします。今年のテーマは「L∞P」～無限に広がる輪～です。このテーマのもと、本学学生はもちろんのこと、地域の方・高校生の方など多くの方に参加していただき、共同型の大学祭を目指しています。学内外の団体の模擬店出店、ベリーグッドマンのアーティストライブの他、お笑いライブやステージ企画などを予定していますので、皆さん是非ご来場ください。
公式ツイッター <https://twitter.com/syodaisai>
(岡山商科大学大学祭実行本部 委員長 伊藤勇大)

大学祭で演劇部が公演を行います!

私たち演劇部は9名で、毎週火水金曜日の授業終了後から第2学生会館部室にて活動しています。ノートルダム清心女子大学の日本語演劇部と合同で活動しており、年に3本～4本の公演を行っています。

2019年度は春に『パラダイムチェンジ』を天神山文化プラザで上演し約250名のお客さんにお越しいただきました。今後は、10月にある本学大学祭にてステージ企画として『Aconitum』を、冬にはもう1本別の演目を上演予定です。

大学祭ステージ企画として上演する『Aconitum』は、差別を受け、盗みをしながら生活を送る少年が、ある少女と出会い価値観を変えていく、幸と不幸をテーマにした作品です。

この作品は私が脚本を手がけました。私たちは、従来から存在する既成台本ではなく、自分たちで新しいものを作り上げて創作台本にこだわっていて、部員全員で一つの作品を完成させていく過程や、上演後のお客さんからの「楽しかった」という言葉がやりがいとなっています。みなさん是非一度、演劇部の公演にお越しください。(演劇部部长 経営学部3年 濱田優生)

2020年度 岡山商科大学 入試日程

学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
推薦入試	第1回AO (専願・浪人可)	詳細は、本学ホームページ「AO入試のエントリー」についてはこちらをご覧ください。 (第1回、2回の年2回実施。エントリー期間 9月2日(月)～11月5日(火) 【Web受付】)	11月23日(土・祝)	本学・沖縄	11月1日(金)～11月13日(水)	Web出願	12月2日(月) 2月28日(金)
	第2回AO (専願・浪人可)						
	指定校推薦 前期日程(専願)	選考方法については募集要項をご覧ください。	2月21日(金)	本学	1月20日(月)～2月12日(水)	Web出願	12月2日(月) 2月28日(金)
	指定校推薦 後期日程(専願)						
	専門能力推薦 前期日程(専願)	選考方法については募集要項をご覧ください。	11月24日(日)	本学・沖縄	11月1日(金)～11月13日(水)	Web出願	12月2日(月) 2月28日(金)
	専門能力推薦 後期日程(専願)						
法学部 経済学部 経営学部	(併願・公募制推薦)	①基礎学力テスト(国語 100点) ②調査書(100点)	11月30日(土)	本学・大阪・鳥取・松江・広島・福山・徳島・高松・松山・高知・小倉	11月1日(金)～11月20日(水)	Web出願	12月6日(金)
	前期B日程(併願)	①基礎学力テスト(英語、数学I・Aのうち1科目を試験当日会場で選択 100点) ②調査書(100点)	12月1日(日)				12月26日(木)
	後期日程(併願)	①基礎学力テスト(英語、国語、数学I・A、小論文のうち1科目を試験当日 会場で選択 100点) ②調査書(100点)	12月21日(土)	本学	12月3日(火)～12月11日(水)		
学部	試験区分	選考方法	試験日	試験会場	出願期間	出願方法	合格発表日
法学部 経済学部 経営学部	前期A日程	①英語(100点)…………… ②選択1科目(100点)……	2月1日(土)	本学・大阪・鳥取・松江・広島・福山・徳島・高松・松山・高知・小倉	1月6日(月)～1月22日(水)	Web出願	2月7日(金)
	前期B日程	①選択2科目(200点)……	2月2日(日)				
	中期日程	①選択2科目(200点)……	2月20日(木)	本学	2月3日(月)～2月12日(水)		2月28日(金)
	後期日程	①選択1科目(100点)…… ②口頭試問	3月5日(木)	本学	2月17日(月)～2月26日(水)		3月13日(金)
学部	試験区分	入試教科・科目	選考方法	試験日	出 願 期 間	出願方法	合格発表日
法学部 経済学部 経営学部	前期日程	国語、地歴・公民(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫政経から第1解答科目)、数学(数I、数II、数A、数B、簿会、情報、から1科目)、理科(物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目、又は物理、化学、生物、地学、から第1解答科目)、外国語(英(リスニングを除く)、独、仏、中、韓から1科目)から2教科を対象とします。	個別試験は実施しません。高得点2教科を合否判定に使用します。 (400点満点。大学入試センター試験での配点が100点の科目は200点に換算します。)	個別試験は実施しない	1月6日(月)～1月22日(水)	Web出願	2月7日(金)
	中期日程				2月3日(月)～2月12日(水)		2月28日(金)
	後期日程				2月17日(月)～3月5日(木)		3月13日(金)

*理科において「基礎」を付した科目は、2科目を選択する必要があります。

*正式な日程等、詳細については、学生募集要項でご確認ください。

慶應MCC 夕学サテライト
2019年度後期 開催予定

- 開催時間 18:30～20:30(開場18:00)
- 会 場 岡山商科大学 地域交流談話室(学生会館2階)
- 受講料 パスポート券(15回)10,000円
受講券(1回)1,200円

10月2日(水) <脱常識の経営論>

楠木 建 (くすのき けん)

一橋ビジネススクール 教授

「すべては「好き嫌い」から始まる」

10月10日(木) <脱常識の経営論>

高木 聡一郎 (たかぎ そういちろう)

東京大学大学院情報学環 准教授

「デフレーション概念で読み解くデジタル・トランスフォーメーション(DX)の本質」

10月16日(水) <脱常識の経営論>

一條 和生 (いちじょう かすお)

一橋ビジネススクール 国際企業戦略専攻 専攻長/教授、IMD客員教授

「DX時代のリーダーシップ」

10月18日(金) <“際”をなくす>

土屋 哲雄 (つちや てつお)

株式会社ワークマン 専務取締役

「ワークマンのビジネス変革と市場戦略」

10月23日(水) <“際”をなくす>

青柳 直樹 (あおやぎ なおき)

株式会社メルベイ 代表取締役

「キャッシュレス社会とメルベイの戦略」

対談のお相手: 佐々木 紀彦 (ささき のりひこ)

NewsPicks Studios CEO、NewsPicks 取締役

*本講演は青柳氏の講演60分・対談30分・質疑応答30分の構成です。

11月6日(水) <脱常識の経営論>

佐宗 邦威 (さそう くにたけ)

戦略デザインファームBIOTOPE 代表、チーフストラテジックデザイナー

「想いを形に変える方法論」

11月13日(水) <この人に聞く>

平尾 成志 (ひらお まさし)

盆栽師

「日本の盆栽を世界のBONSAIへ」

11月19日(火) <社会を変える、自分を変える>

樺島 勝徳 (かばしま まさのり)

臨済宗天龍寺派薬師禅寺 住職

「禅で自然治癒力を高める」

11月26日(火) <社会を変える、自分を変える>

宮田 裕章 (みやた ひろあき)

慶應義塾大学医学部医療政策・管理科学教室 教授

「データ駆動社会における新たなヘルス・ケア」

11月29日(金) <この人に聞く>

中川 順子 (なかがわ じゅんこ)

野村アセットマネジメント株式会社 CEO兼代表取締役社長

「人生とお金の話」

12月3日(火) <歴史と空間を旅する>

渋谷 健 (しぶさわ けん)

シブサウ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役、

コモンズ投信株式会社 取締役会長

「渋谷栄一の発創力」

12月10日(火) <歴史と空間を旅する>

里中 満智子 (さとなか まちこ)

マンガ家、大阪芸術大学キャラクター造形学科 学科長

「万葉に輝いた女性達」

12月11日(水) <この人に聞く>

中竹 竜二 (なかたけ りゅうじ)

日本ラグビーフットボール協会 コーチングディレクター、

株式会社チームボックス 代表取締役

「誰よりも学ぶことができるリーダーが組織を育てる」

1月16日(木) <“際”をなくす>

本間 希樹 (ほんま まれき)

国立天文台 水沢VLBI観測所 所長/教授

「人類が初めて目にしたブラックホールの姿」

1月31日(金) <日本と世界の論点>

正能 菜優 (しょうの まゆ)

ハビキラFACTORY 代表取締役社長、大手電機メーカー正社員、

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任助教

「好きなこと“も”仕事にする パラレルキャリア

という働き方」

■お問合せ先

●岡山商科大学社会総合研究所

〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1

TEL 086-256-6656(直通)

FAX 086-252-0642(代表)

●岡山商工会議所 夕学講座担当

〒700-8556 岡山市北区厚生町3-1-15

TEL 086-232-2262

(社会総合研究所)